



2021年5月10日

各位

会社名 ヒューマンホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 佐藤 朋也  
(JASDAQ・コード2415)  
問合せ先 取締役経営企画担当 佐藤 安博  
(TEL: 03-6846-8002)

## 業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年2月5日に公表いたしました2021年3月期 通期連結累計期間の業績予想を下記の通り修正するとともに、連結決算および個別決算において特別損失を計上する見通しとなりましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 2021年3月期 通期連結累計期間の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	85,350	1,900	2,300	850	78.14
今回修正予想 (B)	85,811	2,702	3,253	1,439	132.36
増減額 (B-A)	461	802	953	589	—
増減率 (%)	0.5	42.2	41.5	69.4	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	85,989	2,002	2,127	848	78.00

#### 2. 業績予想修正の理由

2021年3月期 通期連結累計期間の業績予想につきましては、各セグメントにおける新型コロナウイルス感染症の影響として、入国制限により人材関連事業における海外 IT エンジニアの確保や、教育事業の日本語学校などにおいて影響が生じているほか、介護事業におけるデイサービスの稼働率低下などの影響が生じましたが、人材派遣事業の業績が想定を上回ったことなどから、売上高は前回発表予想を上回る見通しとなりました。利益面につきましては、本社オフィスをはじめとする各拠点の規模見直しなどにより特別損失などの費用が発生しましたが、増収の影響に加え、グループ各社における経費削減効果が想定を上回ったことから、営業利益および経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

### 3. 特別損失の計上について

#### (1) 減損損失

当社および連結子会社が保有する固定資産やのれんについて、将来の回収可能性を検討した結果、2021年3月期連結決算において422百万円、個別決算において18百万円の減損損失を特別損失として計上する見通しとなりました。

#### (2) 関係会社株式評価損

連結子会社であるヒューマンアカデミー株式会社が保有する関係会社株式のうち、実質価値が著しく低下している株式について、284百万円の関係会社株式評価損を計上する見通しとなりました。なお、当該関係会社株式評価損は連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

※ 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上